

# 議事要旨

## 1. 質疑応答

### (1) キトラ古墳の保存処置の状況と今後の壁画の保存・公開について

- 「現在、古墳内部の損傷等が著しいため、キトラ古墳壁画の取り外し保存処置が行われており、今後の保存展示方法等については文化庁の検討会議で議論が行われているところである」との報告があった。これに対し、キトラ古墳の周辺において壁画を保存管理できるか否かが本地区への集客を大きく左右するため、一般公開を含めキトラ古墳の周辺における保存を文化庁の検討会議で議論いただきたい旨付言があった。

### (2) パブリックコメントの実施結果について

- 実施の時期・期間等について質問があり、年末年始の1ヶ月間の設定は本計画について考えて答えていただく時間に余裕のある設定であったと認識していると説明があった。
- 回答者の属性ごとの意見の相違について質問があり、母数も少なく意見の偏りには有意な差は見られなかったとの説明があった。
- パブリックコメントの実施結果に付した回答の取り扱いに対する質問があり、回答は国土交通省によるものであり、委員会の検討と食い違いがないか確認していただきたい旨付言があった。

## 2. 討議及び提案

### (1) キトラ古墳周辺地区整備基本計画(案)について

#### 1) 全体計画について

- 史跡整備と違い、公園整備のためには手を加えることが必要であり、「必要最小限の整備」と取って言う必要はないのでは。
- 主要導入施設の名称の中「体験」という文字が多い印象を受けるので施設の名称の再考を検討すべき。
- パブリックコメントの景観への配慮に対する意見は尊重すべきではあるが、現況の人工林や放棄林が含まれる景観を修復しながらキトラ古墳造営時の風景に変えていくことも重要。
- 計画地南西部の山林の林相は好ましい状態ではないため、かつての飛鳥の里山をイメージできるよう、今後調査の上で改良を検討すべき。
- メイン駐車場とキトラ古墳の距離を考慮し、車椅子利用の来園者などに対する対策を盛り込んでおくべき。

#### 2) 基本計画(案)の各施設について

- キトラ古墳北側の園路及び古墳南面の眺望広場の整備については、古墳造営時に整形している可能性もあるため、今後の文化財調査を踏まえた整備計画とすべき。
- 体験学習館と体験学習広場を結ぶアンダーパスは、来園者にとって魅力的な空間とすべく先行事例調査も含め十分検討すべき。
- 体験学習広場の利用時に道路を通過する車の音が邪魔にならないよう騒音対策に配慮すべき。
- 体験フィールドは、現状の農業システムを維持することに目的があるように受け取れるため、赤米の栽培を始め、かつての利用方法を再現するなど昔の雰囲気を出していくことにより飛鳥の風土を守るために整備する旨を強調すべき。

- 五穀の里や農業体験フィールドを生かした食物や飲物をつくってはどうか。万葉集にも酒に関する歌が数多くあり、昨今の健康志向を考慮すると赤米の炊き方や雑穀を味わうなどの体験ができることがこの地区の特色となるのでは。
- 檜隈の里については、具体的な完成イメージと管理体制をあらかじめ想定しておかないと魅力のあるものになりにくいいため、今後充分検討していただきたい。
- 維持管理施設については、キトラ古墳周辺地区が既存4地区よりも法規制が緩やかであることから、チップ、堆肥、燃料などを製造するリサイクル施設などを導入し、より積極的に循環型・再生型の技術を採用し、ハード、ソフト両面でボランティアや地元の方々と運営することを検討していただきたい。

## (2) 今後の事業の展開方法について

- 隣接する高取町側の期待が大きいと考えられるため、高取町とも充分にコンタクトを取って計画を進めていただきたい。
- 用地取得は事業承認後に買収手続きをおこなうが、仮に部分的に遅れるような箇所があった場合には暫定的に必要な機能を他の箇所でも確保することも考えられるが、基本計画案が完成形という前提で調整を進める。